

片川君の第1区力走目立つ

第101回箱根駅伝

第101回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）では、大学の単独チームとしては出場を果たせませんでした。が、関東学生連合チームのメンバーとして第1区（21.3km）で力走した母校陸上競技部主将の片川祐大選手（経済学部4年・兵庫・私立報徳学園高卒）が、1時間2分56秒のタイム（第16位の立教大と同タイム）でゴールしました。

今大会の第1区は序盤から中央大学が飛び出しレースとなりました。が、亜大のユニフォームを着た片川選手（当日変更、区間エントリー段階では補欠）は果敢に2番目を単独で走りました。鶴見中継所手前で後続集団に飲み込まれる形となりましたがそれでも1時間2分台の好タイムで2区走者にタスキを渡しました。

ある調査によると往路におけるテレビ放映で映し出された回数では、単独走となった中央大学をトップに、青山学院、早稲田、駒澤、東京国際、創価、國學院に次いで連合チームが8番目に多かったということです。長時間単独で2位を走ったことがその要因とみられます。複数回にわたって「連合チームで走る亜細亜大学の片川選手」というように中継でアナウンスもされました。